

「自己点検・評価書」・「基礎資料」 正誤表

大学名：城西国際大学薬学部

■自己点検・評価書

| | 頁 | 行 | 誤 | 正 |
|---|-----|----|---|---|
| 1 | 2 | 7 | 学則「 <u>第2章総則第2条3</u> 」に設定されている。 | 学則「 <u>第2章第2条3(4)</u> 」に設定されている。 |
| 2 | 36 | 5 | 更に「 <u>医療薬剤学 III</u> 」(3年次、 <u>必修</u> 、2単位、資料5)では | 更に「 <u>医療薬剤学 IV</u> 」(3年次、 <u>選択</u> 、2単位、資料5)では |
| 3 | 71 | 29 | …、 <u>平成31年3月12日</u> … | …、 <u>訪問時間閲覧資料1-31.平成31年3月12日</u> … |
| 4 | 73 | 11 | … <u>最近6年間(平成26年度～31年度)の平均で103%となっている(基礎資料2-2、基礎資料7)。</u> | … <u>最近6年間(平成25年度～30年度)の平均で111%となっている(基礎資料2-2)。</u> |
| 5 | 108 | 10 | …医療薬学系の計 <u>19</u> の… | …医療薬学系の計 <u>18</u> の… |
| 6 | 109 | 13 | 平均では <u>6.16</u> 時間 | 平均では <u>6.53</u> 時間 |
| 7 | 121 | 12 | <u>(公社)日本化学療法学会 評議員</u> | 削除 |

■ 基礎資料

| | 資料番号 | 頁 | 箇所 | 誤 | 正 |
|---|------|-----------------|-------------------------------|-----------------------|---------------------------------|
| 1 | 3-2 | 65 | 基礎資料 3-2 (令和元年 5 月 8 日提出) | | 赤字部分の科目を 4 年次枠に移動しました。 |
| 2 | 5 | 110 | 基礎資料 5 (令和元年 5 月 8 日提出) | 海外交換留学 (タイ国チュラロンコン大学) | 海外交換留学 (タイ王国チュラロンコン大学) |
| 3 | 10 | 122 ～ 127 | 基礎資料 10 (令和元年 5 月 8 日提出) | | 赤字部分を変更しました。 |
| 4 | 12-2 | 130 | 基礎資料 12-2 (令和元年 5 月 8 日提出) | | 教員研究室の備考欄 助教を削除しました |
| 5 | 15 | 187 | 基礎資料 15 (令和元年 5 月 8 日提出) | | 赤字部分を変更しました |
| 6 | 15 | 208 ～ 209 | 基礎資料 15 (令和元年 5 月 8 日提出) | | 亀井智代助教の教育および 研究活動の業績を追加しました。 |

以下の資料を添付 (令和元年 10 月 21 日提出)

- ・ 基礎資料 3-2 (全頁 63 ～ 66 頁)
- ・ 基礎資料 5 (110 頁)
- ・ 基礎資料 10 (全頁 122 ～127 頁)
- ・ 基礎資料 12-2 (130 頁)
- ・ 基礎資料 15 (一部 186 ～187 頁、208～209 頁)

- [注] 1 実務実習モデル・コアカリキュラムのSBOsに該当する科目名または実習項目名を実施学年の欄に記入してください。
- 2 同じ科目名・項目名が連続する場合はセルを結合して記入することもできます。
- 3 「(7)の事前学習のまとめ」において大学でSBOsの設定がある場合は、記入してください。必要ならば、行を適宜追加してください。

| 実務実習モデル・コアカリキュラム(実務実習事前学習) SBOs | 該 当 科 目 | | |
|---|--|------------|----|
| | 3年 | 4年 | 5年 |
| D 実務実習教育 | | | |
| (I) 実務実習事前学習 | | | |
| (1) 事前学習を始めるにあたって | | | |
| 《薬剤師業務に注目する》 | | | |
| 1. 医療における薬剤師の使命や倫理などについて概説できる。 | 医療薬剤学Ⅲ、医療薬学系実習Ⅱ、医療薬剤学Ⅳ | 事前学習を始める前に | |
| 2. 医療の現状をふまえて、薬剤師の位置づけと役割、保険調剤について概説できる。 | 医療薬剤学Ⅲ | | |
| 3. 薬剤師が行う業務が患者本位のファーマシューティカルケアの概念にそったものであることについて討議する。(態度) | 医療薬学系実習Ⅱ | | |
| 《チーム医療に注目する》 | | | |
| 4. 医療チームの構成や各構成員の役割、連携と責任体制を説明できる。 | 薬学概論(1年)、地域連携論演習(2年)、高齢者医療サービス論(3年) | | |
| 5. チーム医療における薬剤師の役割を説明できる。 | 薬学概論(1年)、地域連携論演習(2年)、高齢者医療サービス論(3年) | | |
| 6. 自分の能力や責任範囲の限界と他の医療従事者との連携について討議する。(態度) | 薬学概論(1年)、地域連携論演習(2年)、高齢者医療サービス論(3年)、医療薬学系実習Ⅱ | | |
| 《医薬分業に注目する》 | | | |
| 7. 医薬分業の仕組みと意義を概説できる。 | 薬学概論(1年)、医療薬剤学Ⅲ | | |
| (2) 処方せんと調剤 | | | |
| 《処方せんの基礎》 | | | |
| 1. 処方せんの法的位置づけと機能について説明できる。 | 医療薬剤学Ⅲ | 病院・薬局事前学習 | |
| 2. 処方オーダーリングシステムを概説できる。 | 医療薬剤学Ⅲ | 病院・薬局事前学習 | |
| 3. 処方せんの種類、特徴、必要記載事項について説明できる。 | 医療薬剤学Ⅲ、医療薬学系実習Ⅱ | 病院・薬局事前学習 | |
| 4. 調剤を法的根拠に基づいて説明できる。 | 医療薬剤学Ⅲ | 病院・薬局事前学習 | |
| 5. 代表的な処方せん例の鑑査における注意点を説明できる。(知識・技能) | 医療薬剤学Ⅲ、医療薬学系実習Ⅱ | 病院・薬局事前学習 | |
| 6. 不適切な処方せんの処置について説明できる。 | 医療薬剤学Ⅲ、医療薬学系実習Ⅱ | 病院・薬局事前学習 | |

| 実務実習モデル・コアカリキュラム（実務実習事前学習）SBOs | 該 当 科 目 | | |
|--|----------------------|-----------|----|
| | 3年 | 4年 | 5年 |
| 《医薬品の用法・用量》 | | | |
| 7. 代表的な医薬品の用法・用量および投与計画について説明できる。 | 医療薬剤学Ⅱ、薬剤学演習 | 病院・薬局事前学習 | |
| 8. 患者に適した剤形を選択できる。（知識・技能） | 医療薬学系実習Ⅱ、製剤学Ⅱ、医療薬剤学Ⅲ | 病院・薬局事前学習 | |
| 9. 患者の特性（新生児、小児、高齢者、妊婦など）に適した用法・用量について説明できる。 | 臨床薬物動態学 | 病院・薬局事前学習 | |
| 10. 患者の特性に適した用量を計算できる。（技能） | 臨床薬物動態学 | 病院・薬局事前学習 | |
| 11. 病態（腎、肝疾患など）に適した用量設定について説明できる。 | 臨床薬物動態学 | 病院・薬局事前学習 | |
| 《服薬指導の基礎》 | | | |
| 12. 服薬指導の意義を法的、倫理的、科学的根拠に基づいて説明できる。 | 医療薬剤学Ⅲ、医療薬学系実習Ⅱ | 病院・薬局事前学習 | |
| 《調剤室業務入門》 | | | |
| 13. 代表的な処方せん例の鑑査をシミュレートできる。（技能） | 医療薬学系実習Ⅱ | 病院・薬局事前学習 | |
| 14. 処方せん例に従って、計数調剤をシミュレートできる。（技能） | 医療薬学系実習Ⅱ | 病院・薬局事前学習 | |
| 15. 処方せん例に従って、計量調剤をシミュレートできる。（技能） | 医療薬学系実習Ⅱ | 病院・薬局事前学習 | |
| 16. 調剤された医薬品の鑑査をシミュレートできる。（技能） | 医療薬学系実習Ⅱ | 病院・薬局事前学習 | |
| 17. 処方せんの鑑査の意義とその必要性について討議する。（態度） | 医療薬学系実習Ⅱ | 病院・薬局事前学習 | |
| （3）疑義照会 | | | |
| 《疑義照会の意義と根拠》 | | | |
| 1. 疑義照会の意義について、法的根拠を含めて説明できる。 | 医療薬剤学Ⅲ | 病院・薬局事前学習 | |
| 2. 代表的な配合変化の組合せとその理由を説明できる。 | 医療薬剤学Ⅲ | 病院・薬局事前学習 | |
| 3. 特定の配合によって生じる医薬品の性状、外観の変化を観察する。（技能） | | 病院・薬局事前学習 | |
| 4. 不適切な処方せん例について、その理由を説明できる。 | 医療薬学系実習Ⅱ | 病院・薬局事前学習 | |
| 《疑義照会入門》 | | | |
| 5. 処方せんの問題点を解決するための薬剤師と医師の連携の重要性を討議する。（態度） | | 病院・薬局事前学習 | |
| 6. 代表的な医薬品について効能・効果、用法・用量を列挙できる。 | 医薬品情報学 | 病院・薬局事前学習 | |
| 7. 代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。 | 医薬品情報学 | 病院・薬局事前学習 | |
| 8. 代表的な医薬品について相互作用を列挙できる。 | 医療薬剤学Ⅲ | 病院・薬局事前学習 | |
| 9. 疑義照会の流れを説明できる。 | 医療薬剤学Ⅲ、医療薬学系実習Ⅱ | 病院・薬局事前学習 | |
| 10. 疑義照会をシミュレートする。（技能・態度） | 医療薬学系実習Ⅱ | 病院・薬局事前学習 | |
| （4）医薬品の管理と供給 | | | |
| 《医薬品の安定性に注目する》 | | | |
| 1. 医薬品管理の意義と必要性について説明できる。 | 医療薬剤学Ⅲ | 病院・薬局事前学習 | |
| 2. 代表的な剤形の安定性、保存性について説明できる。 | 製剤学Ⅱ | 病院・薬局事前学習 | |

| 実務実習モデル・コアカリキュラム（実務実習事前学習）SBOs | 該 当 科 目 | | |
|--|----------|------------------|----|
| | 3年 | 4年 | 5年 |
| 《特別な配慮を要する医薬品》 | | | |
| 3. 毒薬・劇薬の管理および取扱いについて説明できる。 | | 薬事関係法規、病院・薬局事前学習 | |
| 4. 麻薬、向精神薬などの管理と取扱い（投薬、廃棄など）について説明できる。 | | 薬事関係法規、病院・薬局事前学習 | |
| 5. 血漿分画製剤の管理および取扱いについて説明できる。 | | 病院・薬局事前学習 | |
| 6. 輸血用血液製剤の管理および取扱いについて説明できる。 | | 病院・薬局事前学習 | |
| 7. 代表的な生物製剤の種類と適応を説明できる。 | 薬物治療学Ⅲ | 病院・薬局事前学習 | |
| 8. 生物製剤の管理と取扱い（投薬、廃棄など）について説明できる。 | | 病院・薬局事前学習 | |
| 9. 麻薬の取扱いをシミュレートできる。（技能） | | 病院・薬局事前学習 | |
| 10. 代表的な放射性医薬品の種類と用途を説明できる。 | | 薬品放射化学、病院・薬局事前学習 | |
| 11. 放射性医薬品の管理と取扱い（投薬、廃棄など）について説明できる。 | | 薬品放射化学、病院・薬局事前学習 | |
| 《製剤化の基礎》 | | | |
| 12. 院内製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。 | 医療薬剤学Ⅲ | 病院・薬局事前学習 | |
| 13. 薬局製剤の意義、調製上の手続き、品質管理などについて説明できる。 | | 病院・薬局事前学習 | |
| 14. 代表的な院内製剤を調製できる。（技能） | 医療薬学系実習Ⅱ | 病院・薬局事前学習 | |
| 15. 無菌操作の原理を説明し、基本的な無菌操作を実施できる。（知識・技能） | | 病院・薬局事前学習 | |
| 16. 抗悪性腫瘍剤などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的な手技を実施できる。（技能） | | 病院・薬局事前学習 | |
| 《注射剤と輸液》 | | | |
| 17. 注射剤の代表的な配合変化を列挙し、その原因を説明できる。 | 医療薬剤学Ⅲ | 病院・薬局事前学習 | |
| 18. 代表的な配合変化を検出できる。（技能） | | 病院・薬局事前学習 | |
| 19. 代表的な輸液と経管栄養剤の種類と適応を説明できる。 | 医療薬剤学Ⅲ | 病院・薬局事前学習 | |
| 20. 体内電解質の過不足を判断して補正できる。（技能） | 医療薬剤学Ⅲ | 病院・薬局事前学習 | |
| 《消毒薬》 | | | |
| 21. 代表的な消毒薬の用途、使用濃度を説明できる。 | | 病院・薬局事前学習 | |
| 22. 消毒薬調製時の注意点を説明できる。 | | 病院・薬局事前学習 | |
| （5）リスクマネジメント | | | |
| 《安全管理に注目する》 | | | |
| 1. 薬剤師業務の中で起こりやすい事故事例を列挙し、その原因を説明できる。 | | | |
| 2. 誤りを生じやすい投薬例を列挙できる。 | | 病院・薬局事前学習 | |
| 3. 院内感染の回避方法について説明できる。 | | 薬物治療学Ⅳ、病院・薬局事前学習 | |
| 《副作用に注目する》 | | | |
| 4. 代表的な医薬品の副作用の初期症状と検査所見を具体的に説明できる。 | | 病院・薬局事前学習 | |

| 実務実習モデル・コアカリキュラム（実務実習事前学習）SBOs | 該 当 科 目 | | |
|--|---------------|-------------------------|-----|
| | 3 年 | 4 年 | 5 年 |
| 《リスクマネジメント入門》 | | | |
| 5. 誤りを生じやすい調剤例を列挙できる。 | 医療薬剤学Ⅲ | 病院・薬局事前学習 | |
| 6. リスクを回避するための具体策を提案する。（態度） | | 病院・薬局事前学習 | |
| 7. 事故が起こった場合の対処方法について提案する。（態度） | | 病院・薬局事前学習 | |
| （6）服薬指導と患者情報 | | | |
| 《服薬指導に必要な技能と態度》 | | | |
| 1. 患者の基本的権利、自己決定権、インフォームド・コンセント、守秘義務などについて具体的に説明できる。 | 医療薬剤学Ⅲ | 病院・薬局事前学習 | |
| 2. 代表的な医薬品の服薬指導上の注意点を列挙できる。 | 医療薬学系実習Ⅱ | 病院・薬局事前学習 | |
| 3. 代表的な疾患において注意すべき生活指導項目を列挙できる。 | 医療薬学系実習Ⅱ | 病院・薬局事前学習 | |
| 4. インフォームド・コンセント、守秘義務などに配慮する。（態度） | | 病院・薬局事前学習、臨床コミュニケーション演習 | |
| 5. 適切な言葉を選び、適切な手順を経て服薬指導する。（技能・態度） | | 病院・薬局事前学習、臨床コミュニケーション演習 | |
| 6. 医薬品に不安、抵抗感を持つ理由を理解し、それを除く努力をする。（知識・態度） | | 病院・薬局事前学習、臨床コミュニケーション演習 | |
| 7. 患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる。 | 医療薬学系実習Ⅱ | 病院・薬局事前学習、臨床コミュニケーション演習 | |
| 《患者情報の重要性に注目する》 | | | |
| 8. 服薬指導に必要な患者情報を列挙できる。 | 医薬品情報学、医療薬剤学Ⅲ | 病院・薬局事前学習 | |
| 9. 患者背景、情報（コンプライアンス、経過、診療録、薬歴など）を把握できる。（技能） | | 病院・薬局事前学習 | |
| 10. 医師、看護師などとの情報の共有化の重要性を説明できる。 | | 病院・薬局事前学習 | |
| 《服薬指導入門》 | | | |
| 11. 代表的な医薬品について、適切な服薬指導ができる。（知識・技能） | | 病院・薬局事前学習 | |
| 12. 共感的態度で患者インタビューを行う。（技能・態度） | | 病院・薬局事前学習、臨床コミュニケーション演習 | |
| 13. 患者背景に配慮した服薬指導ができる。（技能） | | 病院・薬局事前学習 | |
| 14. 代表的な症例についての服薬指導の内容を適切に記録できる。（技能） | | 病院・薬局事前学習 | |
| （7）事前学習のまとめ | | | |
| | | 病院・薬局事前学習 | |

1-4年次

| 科目名 | 開講年次 | 要素 | | | |
|--|------|----|----|----|----|
| | | 読み | 書き | 聞く | 話す |
| Fundamentals of English I | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Oral Fluency I | 1 | ○ | | ○ | ○ |
| Fundamentals of English II | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 薬学外国書講読 | 2 | ○ | ○ | ○ | |
| TOEIC I | 3-6 | ○ | ○ | ○ | |
| 薬学実践英語 | 3-6 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| TOEIC II | 3-6 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ドイツ語1A* ¹ | 1-4 | ○ | ○ | ○ | |
| ドイツ語1B* ¹ | 1-4 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 中国語1A* ¹ | 1-4 | ○ | ○ | ○ | |
| 中国語1B* ¹ | 1-4 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Introduction to Health Science | 1-6 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| Safety of Food and Environmental Chemicals* ³ | 1-6 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 米国薬学研修UCR (薬学実践北米* ²) | 3, 4 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 海外交換留学 (タイ王国チュラロンコン大学* ⁴) | 5 | ○ | ○ | ○ | ○ |

[注] 要素欄の該当するものに○印をお付けください。

*1 H30年度より

*2 H30年度より独立して単位化

*3 平成27～28年度開講したが、平成29年度からは「Introduction to Health Science」に統合された。

*4 留学先大学において下記科目履修により8単位修得。

- (1) English for Pharmacy Profession II (2単位)
- (2) Quantitative Concept in Pharmacy (2単位)
- (3) Senior Project (4単位)

本学においては、「国際社会薬学特別演習(2単位)」と「卒業研究及び卒業論文(4単位)」の一部に置き換えて単位取得。

表1. 薬学科(6年制)専任教員(基礎資料8の表1)が担当する授業科目と担当時間

| 学科 ¹⁾ | 職名 ²⁾ | 氏名 | 年齢 | 性別 | 学位称号 | 現職就任年月日 | 授業担当科目 ³⁾ | 授業時間 ⁴⁾ | 年間で平均した週当たり授業時間 ⁵⁾ |
|------------------|------------------|-------|----|----|--------|------------|--------------------------------|--------------------|-------------------------------|
| 医療薬学科 | 教授 | 秋元 雅之 | 63 | 男 | 博士(薬学) | 2004. 4. 1 | 医療薬剤学Ⅱ | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 医療経済学 | 4.50 | 0.15 |
| | | | | | | | 薬学概論 | 1.50 | 0.05 |
| | | | | | | | 薬剤学演習 | 13.50 | 0.45 |
| | | | | | | | 総合演習Ⅲ | 15.00 | 0.50 |
| | | | | | | | 薬学総合演習及び卒業試験 | 6.00 | 0.20 |
| | | | | | | | 基礎薬学実習 | ◎ 1.50 | 0.05 |
| | | | | | | | 医薬品開発特論演習 | 0.50 | 0.02 |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅱ | ◎ 13.50 | 0.45 |
| | | | | | | | くすりの知識(福祉総合学部) | 7.50 | 0.25 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 108.50 | 3.62 |
| 医療薬学科 | 教授 | 朝海 怜 | 67 | 男 | 博士(医学) | 2004. 4. 1 | 解剖生理学 | 22.50 | 0.75 |
| | | | | | | | 解剖生理学(経営情報学部) | 22.50 | 0.75 |
| | | | | | | | 基礎薬学実習 | ◎ 16.50 | 0.55 |
| | | | | | | | 臨床化学 | 22.50 | 0.75 |
| | | | | | | | ジェンダー・ライフステージ薬学特論演習 | 7.50 | 0.25 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 91.50 | 3.05 |
| 医療薬学科 | 教授 | 石崎 幸 | 56 | 男 | 薬学博士 | 2006. 4. 1 | 薬学総合演習及び卒業試験 | 34.50 | 1.15 |
| | | | | | | | 化学Ⅱ | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 有機化学Ⅰ | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 基礎薬学実習 | ◎ 36.00 | 1.20 |
| | | | | | | | 医薬品開発特論演習 | 3.00 | 0.10 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 163.50 | 5.45 |
| 医療薬学科 | 教授 | 太田 篤胤 | 59 | 男 | 博士(農学) | 2004. 4. 1 | 身体活動論演習 | 60.00 | 2.00 |
| | | | | | | | 臨床栄養学 | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 食品機能学 | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | セルフメディケーション特論演習 | 4.50 | 0.15 |
| | | | | | | | 薬学特別演習 | 4.50 | 0.15 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 159.00 | 5.30 |
| 医療薬学科 | 教授 | 奥山 恵美 | 65 | 女 | 博士(薬学) | 2004. 4. 1 | 薬学概論 | 4.50 | 0.15 |
| | | | | | | | 薬学外国書講読 | 24.00 | 0.80 |
| | | | | | | | 化学系実習 | ◎ 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 総合演習Ⅲ | 18.00 | 0.60 |
| | | | | | | | 高齢者医療サービス論演習 | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 漢方医学 | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 専門薬剤師・認定薬剤師特論演習 | 4.50 | 0.15 |
| | | | | | | | プロジェクト薬学 | 27.00 | 0.90 |
| | | | | | | | Introduction to Health Science | 3.00 | 0.10 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 216.00 | 7.20 |

| 学科 ¹⁾ | 職名 ²⁾ | 氏名 | 年齢 | 性別 | 学位称号 | 現職就任年月日 | 授業担当科目 ³⁾ | 授業時間 ⁴⁾ | 年間で平均した週当たり授業時間 ⁵⁾ | |
|------------------|------------------|--------|----|----|--------|------------|--------------------------------|--------------------|-------------------------------|------|
| 医療薬学科 | 教授 | 懸川 友人 | 60 | 男 | 薬学博士 | 2004. 4. 1 | 情報メディア演習 I | 54.00 | 1.80 | |
| | | | | | | | 化粧品論 | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | 先端医療論 | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 基礎薬学実習 | ◎ | 36.00 | 1.20 |
| | | | | | | | 化学系実習 | ◎ | 40.50 | 1.35 |
| | | | | | | | 医療薬学系実習 I | ◎ | 24.00 | 0.80 |
| | | | | | | | ジェンダー・ライフステージ薬学特論演習 | | 9.00 | 0.30 |
| | | | | | | | 医薬品化学 II | | 4.50 | 0.15 |
| | | | | | | | プロジェクト薬学 | | 30.00 | 1.00 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | | | |
| 医療薬学科 | 教授 (実務) | 児玉 庸夫 | 65 | 男 | 博士(薬学) | 2004. 4. 1 | 薬事関係法規 | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | 臨床薬理学 | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 医薬品開発特論演習 | 4.50 | 0.15 | |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | | | |
| 医療薬学科 | 教授 | 酒井 健介 | 46 | 男 | 博士(農学) | 2017. 4. 1 | 基礎栄養学 | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 食品衛生学 | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 地域連携論演習 | 117.00 | 3.90 | |
| | | | | | | | 総合演習 II | 9.00 | 0.30 | |
| | | | | | | | 地域医療特論演習 | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | 薬学総合演習及び卒業試験 | 3.00 | 0.10 | |
| | | | | | | | 臨床栄養学(看護学部) | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | | | |
| 医療薬学科 | 教授 (客員) | 佐仲 雅樹 | 52 | 男 | 博士(医学) | 2015. 4. 1 | 病態解析学 | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | 病態解析学演習 I | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | スポーツ医学(経営情報学部) | 3.00 | 0.10 | |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | | | |
| 医療薬学科 | 教授 | 関根 利一 | 56 | 男 | 博士(薬学) | 2011. 4. 1 | 生薬学 | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 化学系実習 | ◎ | 36.00 | 1.20 |
| | | | | | | | 総合演習 II | | 30.00 | 1.00 |
| | | | | | | | 地域連携論演習 | | 30.00 | 1.00 |
| | | | | | | | ハーブ園芸(環境社会学部) | | 22.50 | 0.75 |
| | | | | | | | Introduction to Health Science | | 3.00 | 0.10 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | | | |
| 医療薬学科 | 教授 | 高橋 たみ子 | 68 | 女 | 薬学博士 | 2004. 4. 1 | 薬学概論 | 54.00 | 1.80 | |
| | | | | | | | 化学系実習 | ◎ | 31.50 | 1.05 |
| | | | | | | | 医療薬学系実習 I | ◎ | 3.00 | 0.10 |
| | | | | | | | 薬学総合演習及び卒業試験 | | 3.00 | 0.10 |
| | | | | | | | 医薬品化学 | | 12.00 | 0.40 |
| | | | | | | | 基礎薬学実習 | ◎ | 36.00 | 1.20 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | | | |

| 学科 ¹⁾ | 職名 ²⁾ | 氏名 | 年齢 | 性別 | 学位称号 | 現職就任年月日 | 授業担当科目 ³⁾ | 授業時間 ⁴⁾ | 年間で平均した週当たり授業時間 ⁵⁾ | |
|------------------|------------------|--------|----|----|--------|------------|--------------------------------|--------------------|-------------------------------|------|
| 医療薬学科 | 教授 | 二村 典行 | 67 | 男 | 薬学博士 | 2004. 4. 1 | 分析科学Ⅲ | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | 総合演習Ⅱ | 30.00 | 1.00 | |
| | | | | | | | 基礎薬学実習 | ◎ | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 化学系実習 | ◎ | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 142.50 | 4.75 | |
| 医療薬学科 | 教授 | 額賀 路嘉 | 53 | 男 | 博士(薬学) | 2017. 4. 1 | 薬学基礎生物 | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 生理化学Ⅰ | 51.00 | 1.70 | |
| | | | | | | | 生物系演習 | 27.00 | 0.90 | |
| | | | | | | | 総合演習Ⅰ | 8.00 | 0.27 | |
| | | | | | | | 薬学総合演習及び卒業試験 | 3.00 | 0.10 | |
| 授業担当時間の合計 | 134.00 | 4.47 | | | | | | | | |
| 医療薬学科 | 教授 | 長谷川 哲也 | 54 | 男 | 博士(薬学) | 2017. 4. 1 | 臨床薬物動態学 | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 薬剤学演習 | 13.50 | 0.45 | |
| | | | | | | | 病院・薬局事前学習 | ◎ | 13.50 | 0.45 |
| | | | | | | | 薬学総合演習及び卒業試験 | 6.00 | 0.20 | |
| | | | | | | | 総合演習Ⅲ | 15.00 | 0.50 | |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅱ | ◎ | 15.00 | 0.50 |
| 授業担当時間の合計 | 108.00 | 3.60 | | | | | | | | |
| 医療薬学科 | 教授 | 平田 隆弘 | 59 | 男 | 博士(薬学) | 2007. 4. 1 | 微生物学Ⅰ | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 生体防御学 | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 薬学外国書講読 | 21.00 | 0.70 | |
| | | | | | | | 病原微生物学(看護学部) | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | 専門薬剤師・認定薬剤師特論演習 | 7.50 | 0.25 | |
| | | | | | | | 薬学総合演習及び卒業試験 | 3.00 | 0.10 | |
| | | | | | | | Introduction to Health Science | 1.50 | 0.05 | |
| | | | | | | | プロジェクト薬学 | 15.00 | 0.50 | |
| | | | | | | | 生物系実習 | ◎ | 45.00 | 1.50 |
| 授業担当時間の合計 | 205.50 | 6.85 | | | | | | | | |
| 医療薬学科 | 教授 | 堀江 俊治 | 55 | 男 | 博士(薬学) | 2005. 4. 1 | 薬理学序論 | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 薬理学Ⅰ | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 薬理学Ⅱ(旧カリ) | 4.50 | 0.15 | |
| | | | | | | | 医薬品化学Ⅱ(5年生) | 24.00 | 0.80 | |
| | | | | | | | 医薬品化学Ⅱ(6年生) | 18.00 | 0.60 | |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅰ | ◎ | 61.00 | 2.03 |
| | | | | | | | Introduction to Health Science | 1.50 | 0.05 | |
| 授業担当時間の合計 | 199.00 | 6.63 | | | | | | | | |
| 医療薬学科 | 教授 | 光本 篤史 | 51 | 男 | 博士(薬学) | 2004. 4. 1 | 生物学 | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 地域連携論演習 | 1.00 | 0.03 | |
| | | | | | | | 毒性学 | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | 地域医療特論演習 | 1.00 | 0.03 | |
| 授業担当時間の合計 | 69.50 | 2.32 | | | | | | | | |
| 医療薬学科 | 教授 | 山村 重雄 | 61 | 男 | 博士(薬学) | 2007. 4. 1 | 医療統計学 | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 薬剤疫学 | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 薬剤師倫理 | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 薬学特別演習 | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | 薬局機能特論演習 | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅱ | ◎ | 54.00 | 1.80 |
| | | | | | | | 病院・薬局事前学習 | ◎ | 144.00 | 4.80 |
| 授業担当時間の合計 | 378.00 | 12.60 | | | | | | | | |

| 学科 ¹⁾ | 職名 ²⁾ | 氏名 | 年齢 | 性別 | 学位称号 | 現職就任年月日 | 授業担当科目 ³⁾ | 授業時間 ⁴⁾ | 年間で平均した週当たり授業時間 ⁵⁾ | |
|------------------|------------------|--------|----|----|----------|----------|--------------------------------|--------------------|-------------------------------|------|
| 医療薬学科 | 准教授 | 小柳 順一 | 56 | 男 | 博士(薬学) | 2013.4.1 | 薬学基礎化学 | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 化学Ⅰ | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 薬学概論 | 87.00 | 2.90 | |
| | | | | | | | 総合演習Ⅰ | 15.00 | 0.50 | |
| | | | | | | | 医療薬学基礎ゼミ | 24.00 | 0.80 | |
| | | | | | | | 情報メディア演習Ⅰ | 9.00 | 0.30 | |
| | | | | | | | コミュニケーション論演習 | 18.00 | 0.60 | |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 243.00 | 8.10 | |
| 医療薬学科 | 准教授 (実務) | 佐々木 英久 | 49 | 男 | 博士(薬学) | 2016.4.1 | 薬物治療学Ⅱ | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 薬物治療学Ⅲ | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 医療薬剤学Ⅳ | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 病院・薬局事前学習 | ◎ | 105.00 | 3.50 |
| | | | | | | | 薬学特別演習 | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | 薬学総合演習及び卒業試験 | 4.50 | 0.15 | |
| | | | | | | | 地域医療特論演習 | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | 専門薬剤師・認定薬剤師特論演習 | 3.00 | 0.10 | |
| | | | | | | | 医薬品化学Ⅱ | 4.50 | 0.15 | |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 297.00 | 9.90 | |
| 医療薬学科 | 准教授 (実務) | 佐田 宏子 | 62 | 女 | 博士(薬学) | 2009.4.1 | 医薬品情報学 | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 薬物治療学Ⅲ(旧カリ) | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | 製剤学Ⅱ | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 病院・薬局事前学習 | ◎ | 61.50 | 2.05 |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅱ | ◎ | 50.50 | 1.68 |
| 授業担当時間の合計 | 224.50 | 7.48 | | | | | | | | |
| 医療薬学科 | 准教授 | 新垣 知輝 | 47 | 男 | 博士(薬学) | 2013.4.1 | 分析科学Ⅰ | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 分析科学Ⅱ | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 薬品放射科学 | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | 薬学総合演習及び卒業試験 | 7.50 | 0.25 | |
| | | | | | | | 基礎薬学実習 | ◎ | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 化学系実習 | ◎ | 40.50 | 1.35 |
| 授業担当時間の合計 | 205.50 | 6.85 | | | | | | | | |
| 薬学科 | 准教授 | 田嶋 公人 | 44 | 男 | 博士(薬学) | 2005.4.1 | 薬理学Ⅱ | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 薬理学Ⅲ | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 医薬品化学 | 12.00 | 0.40 | |
| | | | | | | | 医薬品化学演習 | 45.00 | 1.50 | |
| | | | | | | | 医薬品化学Ⅱ(6年生) | 9.00 | 0.30 | |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅰ | ◎ | 58.50 | 1.95 |
| | | | | | | | 生物系実習 | ◎ | 54.00 | 1.80 |
| | | | | | | | Introduction to Health Science | 3.00 | 0.10 | |
| | | | | | | | プロジェクト薬学 | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | くすりの知識(福祉総合学部) | 7.50 | 0.25 | |
| 授業担当時間の合計 | 301.50 | 10.05 | | | | | | | | |
| 医療薬学科 | 准教授 (実務) | 寺島 朝子 | 43 | 女 | 博士(臨床薬学) | 2015.5.1 | コミュニケーション論演習 | 67.50 | 2.25 | |
| | | | | | | | 医療薬学基礎ゼミ | 7.50 | 0.25 | |
| | | | | | | | 薬学概論 | 18.00 | 0.60 | |
| | | | | | | | 医療薬剤学Ⅲ | 39.00 | 1.30 | |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅱ | ◎ | 48.00 | 1.60 |
| | | | | | | | 病院・薬局事前学習 | ◎ | 3.00 | 0.10 |
| | | | | | | | 地域医療特論演習 | 22.50 | 0.75 | |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 205.50 | 6.85 | |

| 学科 ¹⁾ | 職名 ²⁾ | 氏名 | 年齢 | 性別 | 学位称号 | 現職就任年月日 | 授業担当科目 ³⁾ | 授業時間 ⁴⁾ | 年間で平均した週当たり授業時間 ⁵⁾ |
|------------------|------------------|-------|----|----|--------|----------|----------------------|--------------------|-------------------------------|
| 医療薬学科 | 准教授(実務) | 富澤 崇 | 42 | 男 | 薬学博士 | 2013.4.1 | 臨床コミュニケーション学演習 | 22.50 | 0.75 |
| | | | | | | | 薬学特別演習 | 12.00 | 0.40 |
| | | | | | | | 病院・薬局事前学習 | ◎ 33.00 | 1.10 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 67.50 | 2.25 |
| 医療薬学科 | 准教授(実務) | 富山 直樹 | 46 | 男 | 博士(薬学) | 2018.4.1 | 医療薬剤学Ⅰ | 43.50 | 1.45 |
| | | | | | | | 総合演習Ⅳ | 10.50 | 0.35 |
| | | | | | | | コミュニケーション論演習 | 54.00 | 1.80 |
| | | | | | | | 薬学概論 | 20.00 | 0.67 |
| | | | | | | | 病院・薬局事前学習 | ◎ 78.00 | 2.60 |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅱ | ◎ 31.50 | 1.05 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 237.50 | 7.92 |
| 医療薬学科 | 准教授 | 中村洋 | 50 | 男 | 博士(薬学) | 2013.4.1 | 薬学特別演習 | 22.50 | 0.75 |
| | | | | | | | 薬学総合演習及び卒業試験 | 7.50 | 0.25 |
| | | | | | | | 総合演習Ⅳ | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 医薬品化学演習 | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 高齢者医療サービス論演習 | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 有機化学Ⅱ | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 化学系演習 | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 255.00 | 8.50 |
| 医療薬学科 | 准教授 | 西口 慶一 | 54 | 男 | 博士(理学) | 2018.4.1 | 薬学基礎物理 | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 医療薬学基礎ゼミ | 46.50 | 1.55 |
| | | | | | | | 総合演習Ⅰ | 21.00 | 0.70 |
| | | | | | | | 総合演習Ⅳ | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 基礎薬学実習 | ◎ 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 生物系実習 | ◎ 54.00 | 1.80 |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅰ | ◎ 58.50 | 1.95 |
| 授業担当時間の合計 | 292.50 | 9.75 | | | | | | | |
| 医療薬学科 | 准教授(実務) | 三浦 剛 | 44 | 男 | 博士(医薬) | 2015.4.1 | 薬物治療学Ⅰ | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 薬物治療学Ⅳ | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 病院・薬局事前学習 | ◎ 105.00 | 3.50 |
| | | | | | | | 地域医療特論演習 | 9.00 | 0.30 |
| | | | | | | | ジェンダー・ライフステージ薬学特論演習 | 6.00 | 0.20 |
| | | | | | | | 専門薬剤師・認定薬剤師特論演習 | 12.00 | 0.40 |
| | | | | | | | 薬学総合演習及び卒業試験 | 3.00 | 0.10 |
| | | | | | | | 総合演習Ⅳ | 30.00 | 1.00 |
| 授業担当時間の合計 | 255.00 | 8.50 | | | | | | | |
| 医療薬学科 | 准教授 | 森 健二 | 54 | 男 | 薬学博士 | 2006.4.1 | 物理化学 | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 物理薬剤学 | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 製剤学Ⅰ | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 薬剤学演習 | 9.00 | 0.30 |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅱ | ◎ 18.00 | 0.60 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 162.00 | 5.40 |
| 医療薬学科 | 准教授 | 山崎 研 | 49 | 男 | 博士(薬学) | 2017.4.1 | 公衆衛生学 | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 環境衛生学 | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 衛生・公衆衛生学(経営情報学部) | 22.50 | 0.75 |
| | | | | | | | 総合演習Ⅳ | 18.00 | 0.60 |
| | | | | | | | 薬学総合演習及び卒業試験 | 6.00 | 0.20 |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅰ | ◎ 33.00 | 1.10 |
| | | | | | | | 地域連携論演習 | 12.00 | 0.40 |
| 授業担当時間の合計 | 181.50 | 6.05 | | | | | | | |
| 医療薬学科 | 助教 | 神谷貞浩 | 49 | 男 | 博士(薬学) | 2017.4.1 | 細胞生理学 | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 分子生物学 | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 生物系実習 | ◎ 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅱ | ◎ 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 病院・薬局事前学習 | ◎ 94.50 | 3.15 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 274.50 | 9.15 |

| 学科 ¹⁾ | 職名 ²⁾ | 氏名 | 年齢 | 性別 | 学位称号 | 現職就任年月日 | 授業担当科目 ³⁾ | 授業時間 ⁴⁾ | 年間で平均した週当たり授業時間 ⁵⁾ |
|------------------|------------------|--------|----|----|--------|----------|----------------------|--------------------|-------------------------------|
| 医療薬学科 | 助教 | 亀井 智代 | 38 | 女 | 博士(薬学) | 2018.9.1 | 地域連携論演習 | 90.00 | 3.00 |
| | | | | | | | 総合演習Ⅳ | 24.00 | 0.80 |
| | | | | | | | 化学系演習 | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 病院・薬局事前学習 | ◎ 90.00 | 3.00 |
| | | | | | | | 化学系実習 | ◎ 31.50 | 1.05 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 280.50 | 9.35 |
| 医療薬学科 | 助教 | 北村 昭夫 | 46 | 男 | 博士(薬学) | 2007.4.1 | 生理化学Ⅱ | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 生理化学Ⅲ | 22.50 | 0.75 |
| | | | | | | | 微生物学Ⅱ | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 高齢者医療サービス論演習 | 57.00 | 1.90 |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅰ | ◎ 36.00 | 1.20 |
| | | | | | | | 生物系実習 | ◎ 54.00 | 1.80 |
| | | | | | | | 病院・薬局事前学習 | ◎ 40.50 | 1.35 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 300.00 | 10.00 |
| 医療薬学科 | 助教 | 合志 雅美 | 38 | 女 | 博士(保健) | 2017.4.1 | 解剖生理学 | 22.50 | 0.75 |
| | | | | | | | 医療薬学基礎ゼミ | 10.50 | 0.35 |
| | | | | | | | 身体活動論演習 | 9.00 | 0.30 |
| | | | | | | | 基礎薬学実習 | ◎ 16.50 | 0.55 |
| | | | | | | | 生物系実習 | ◎ 58.50 | 1.95 |
| | | | | | | | 臨床化学 | 22.50 | 0.75 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 139.50 | 4.65 |
| 医療薬学科 | 助教(実務) | 松本 かおり | 40 | 女 | 修士(薬学) | 2017.4.1 | 医療薬剤学Ⅲ | 27.00 | 0.90 |
| | | | | | | | 臨床薬物動態学 | 6.00 | 0.20 |
| | | | | | | | 薬学概論 | 48.00 | 1.60 |
| | | | | | | | 薬剤学演習 | 9.00 | 0.30 |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅱ | ◎ 64.50 | 2.15 |
| | | | | | | | 病院・薬局事前学習 | ◎ 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 授業担当時間の合計 | 199.50 | 6.65 |

- 1) 薬学科(6年制)専任教員のみが対象ですが、2学科制薬学部で4年制学科の兼任教員となっている場合は(兼任学科名)を付記してください。
- 2) 臨床における実務経験を有する専任教員には、職名に(実務)と付記してください。
- 3) 「授業担当科目」には、「卒業研究」の指導を除く全ての授業担当科目(兼任学科の科目も含む)を記入し、実習科目は科目名の右欄に◎を付してください。
- 4) 「授業時間」には、当該教員がその科目で行う延べ授業時間を時間数を、以下に従ってご記入ください。
 ※講義科目は時間割から計算される実際の時間数(1コマ90分の授業15回担当すれば、90×15+60=22.5時間)を記入します。
 ※複数教員で分担している場合は授業回数を分担回数とし、履修者が多いため同一科目を反復開講している場合は授業時間数に反復回数を乗じます。
 ※実習科目では、同一科目を複数教員(例えば、教授1名と助教、助手2名)が担当していても、常時共同で指導している場合は分担担当としません。
- 5) 「年間で平均した週当たり授業時間」には、総授業時間を「30」(授業が実施される1年間の基準週数)で除した値を記入してください。
 開講する週数が30週ではない大学でも、大学間の比較ができるよう「30」で除してください。

表2. 助手(基礎資料8の表2)の教育担当状況

| 学科 | 職名 | 氏名 | 年齢 | 性別 | 学位 | 就任年月日 | 授業担当科目 | 総授業時間 | 年間で平均した週当たり授業時間 |
|-------|----|-------|----|----|--------|----------|--------------|----------|-----------------|
| 医療薬学科 | 助手 | 石橋 拓也 | 36 | 男 | 博士(薬学) | 2009.4.1 | 生物系演習 | 15.00 | 0.50 |
| | | | | | | | 生物系実習 | ◎ 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅰ | ◎ 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 総合演習Ⅳ | 39.00 | 1.30 |
| 医療薬学科 | 助手 | 大原 厚祐 | 30 | 男 | 博士(薬学) | 2017.4.1 | 薬剤学演習 | 9.00 | 0.30 |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅱ | ◎ 70.50 | 2.35 |
| | | | | | | | 病院・薬局事前学習 | ◎ 153.00 | 5.10 |
| 医療薬学科 | 助手 | 武井 千弥 | 29 | 女 | 博士(薬学) | 2018.4.1 | 薬剤学演習 | 9.00 | 0.30 |
| | | | | | | | 医療薬学系実習Ⅱ | ◎ 70.50 | 2.35 |
| | | | | | | | 病院・薬局事前学習 | ◎ 148.50 | 4.95 |
| 医療薬学科 | 助手 | 扶川 武志 | 44 | 男 | 修(理工学) | 2006.4.1 | 薬学基礎物理 | 45.00 | 1.50 |
| | | | | | | | 医療薬学基礎ゼミ | 54.00 | 1.80 |
| | | | | | | | 身体活動論演習 | 60.00 | 2.00 |
| | | | | | | | コミュニケーション論演習 | 69.00 | 2.30 |

注) 年度途中で助教に昇進した教員(1名)は表1に記載した。

表1. 講座・研究室の施設

| 施設名 ¹⁾ | 面積 ²⁾ | 収容人員 ³⁾ | 室数 ⁴⁾ | 備 考 |
|-------------------|-------------------|--------------------|------------------|---------------------------|
| 学部長室 | 31m ² | 2人 | 1 | 客員教授1名が同部屋にて使用 |
| 教員研究室 | 17m ² | 1人 | 30 | 教授、准教授は個室 |
| 実験室 | 129m ² | 15人 | 14 | 4研究室の実験室においては、助教の居室を兼ねている |
| セミナー室 (6年次以外) | 33m ² | 10人 | 15 | |
| セミナー室 (6年次用) | 45m ² | 12人 | 16 | |
| 教育支援センター | 45m ² | 2人 | 1 | 助手1名が常駐 |
| 医療薬学教育研究センター | 53m ² | 5人 | 1 | 助手2名、職員1名が常駐 |
| 共通機器室 | 33m ² | 0人 | 5 | |
| | m ² | 人 | | |

- 1) 講座・研究室が占有する施設（隣接する2～3講座で共用する施設を含む）を記載してください。
実験室・研究室に広さが異なるものがある場合は、「大・小」、「大・中・小」のように大まかに区分してください。
- 2) 同じ区分の部屋で面積に若干の違いがある場合、面積には平均値を記入してください。
- 3) 1室当たりの収容人数を記入してください。同じ区分の部屋で若干の違いがある場合は平均値を記入してください。
- 4) 薬学科の卒業研究を担当する講座・研究室が占有する部屋の合計数を記入してください。（ひとつの講座・研究室当たりの数ではありません。）

表2. 学部で共用する実験施設

| 施設の区分 ¹⁾ | 室数 | 施設の内容 |
|---------------------|----|---|
| 共通機器室 | 8 | 機器室1、機器室2、機器室3、機器室4、機器室5、NMR室、低温室、暗室 |
| P2実験室 | 4 | 実験室(2室)、特別実習室、フリーザー室 |
| 生命科学センター | 16 | 飼育室(7室)、実験室(2室)、更衣室(2室)、洗浄室、飼料倉庫、機材倉庫、空調機械室、管理室 |
| ラジオアイソトープセンター | 12 | 実験室(7室)、貯蔵室、廃棄物保管室、焼却室、空調機械室、管理室 |

- 1) 大まかな用途による区分を設け、各区分に含まれる室数と施設の内容を列記してください。(面積などは不要です)

| 教育および研究活動の業績一覧 | | | |
|----------------------------|---------------------------|---|-------|
| 大学名 | 城西国際大学 | 講座名 | 社会薬学 |
| 職名 | 准教授 | 氏名 | 寺島 朝子 |
| I 教育活動 | | | |
| 教育実践上の主な業績 | | 年 月 日 | 概 要 |
| 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む) | 2015年5月～ 現在 | 「コミュニケーション論演習」(1年)を担当。 SGDやディベートを中心とした参加型の学習方法で、学生同士が助け合いながら、自らの考えを他者に伝える方法を修得させる。また、学習範囲ごとに各自の学びを自覚させるために振り返りレポートを課して提出させている。 | |
| | 2015年9月～ | 「医療薬学系実習II」(3年)を担当 薬剤師業務の実践への導入実習であり、医療薬剤学IIIの知識の再確認と実践への応用を行う。 | |
| | 2016年4月～ 現在 | 「医療薬剤学III」(3年)を担当 薬剤師業務の実践への導入講義であり、毎回の講義ポイントをプリントで配布するとともに、演習問題を課し、適宜解説を行っている。また、秋学期から始まる「医療薬学系実習II」の調剤実習につなげ、理論と実践の結びつけを行っている。 | |
| | 2017年4月～ 現在 | 「地域医療特論演習」(5～6年)を担当 薬物乱用防止に関する啓発活動の実践コースを担当。主に、SGDにより児童生徒対象の薬物乱用防止教室の計画させ、実践を通して地域における薬剤師の保健活動について学ぶ。実践の場所は、東金市内の小学校であり、東金市と協力をして学生に市内の小中学校の5～6年生を対象とした薬物乱用防止教室を実践させる。 | |
| 2 作成した教科書、教材、参考書 | 2017年10月 | 『スタンダード薬学シリーズⅡ7 臨床薬学 I. 臨床薬学の基礎及び処方箋に基づく調剤』 東京化学同人(分担執筆) 8章 処方箋に基づく医薬品の調製 8・3 後発医薬品を適切に選択できる PP.141-147 調剤において、学生が後発医薬品を適切に選択できるようになるために、調剤上ルールを示すとともに、演習問題を提供した。 | |
| 3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 | 2016年8月～ 現在 (毎年2日間) | 教員免許証更新講習会(東金、安房キャンパス) 学校における感染症の発生予防の対策を目的とした講習を担当 | |
| | 2016年8月 | 第1回 日本薬学教育学会大会(京都) 城西国際大学薬学部における学習意欲を高める試み(3)-臨床マインド醸成を目指した1年次新カリキュラム- | |
| | 2016年9月 | 平成28年度 第1回医療と福祉がにつながる座談会(東金キャンパス) 「ミニ講座 学んでみよう!今年の診療報酬改定」と題し、医学、薬学、福祉に関わる職種を対象に薬に関わる診療報酬改定内容を解説 | |
| | 2017年9月 | 第2回 日本薬学教育学会大会(名古屋) ・城西国際大学薬学部の教育プログラム—教育効果の検証:自記式調査票を用いた意識・態度評価の試み— ・城西国際大学薬学部の教育プログラム—地域住民の健康を支える力の修得を目指した教育:2年次 地域連携論演習— | |
| | 2017年11月 | 第5回CP学術講演会(東京) 「日本におけるWomen's Health教育の可能性」 日本の薬学教育の中ではWomens' healthの領域において関わることを学ばない。そこで、日本の性教育に関わる文化的背景にまでさかのぼり、これから日本の薬学、薬剤師教育における教育の可能性について考察した。 | |

| | | | |
|---|------------------------------------|--|---|
| 3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 | 2018年9月 | 第3回 日本薬学教育学会大会（東京） 城西国際大学薬学部の教育プログラム —臨床マインドの醸成が学力に及ぼす影響— | |
| 4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む) | 2016年4月 ～現在 | SP会委員長を務める 城西国際大学模擬患者会の運営を行い、授業・実習、OSCEに対応できるSPの養成と配置を行う。 | |
| | 2017年4月 ～現在 | 臨床マインド委員会委員長を務める 薬学生の臨床マインドを養成するための、1年から6年までの科目連携、学年連携を図るとともに、主にキャリアファイルの運用に携わっている。 | |
| II 研究活動 | | | |
| 1. 著書・論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行または発表の年月（西暦でも可） | 発行所、発表雑誌（巻・号数）等の名称 |
| （論文）カラゲニン足趾浮腫モデルを用いた各種ケトプロフェンテープ剤の抗炎症効果比較 | 共著 | 2014年11月 | 医療薬学, 40 (11), p. 672-676, (2014) |
| （論文）バンコマイシン塩酸塩点滴静注用製剤の生理食塩液に対する溶解性比較 | 共著 | 2015年1月 | 日本環境感染学会誌, 30 (1), p. 29-32, (2015) |
| （論文）溶出性・分割性からみた市販アセトアミノフェン坐剤の比較 | 共著 | 2015年10月 | 医療薬学41(10), p. 714-721 (2015) |
| （論文）交換輸血前後で血中フェノバルビタール濃度を測定した新生児の一例 | 共著 | 2015年12月 | 日本周産期・新生児医学会雑誌 51(4), p. 1315-1318 (2015) |
| （論文）Photochemical Mechanism of Riboflavin-Induced Degradation of Famotidine and a Suggested Pharmaceutical Strategy for Improving Photostability. | 共著 | 2016年2月 | Journal of Pharmaceutical Sciences, 105(2), p. 741-746 (2016) |
| 2. 学会発表（評価対象年度のみ） | | 発表年・月 | 学会名 |
| 慢性腎臓病患者向け病院食におけるESA低反応性に関わる栄養成分値の調査 ～一般常食とたんぱく制限食の比較～ | | 2018年6月 | 医療薬学フォーラム2018/第26回クリニカルファーマシーシンポジウム |
| 城西国際大学薬学部の教育プログラム—臨床マインドの醸成が学力に及ぼす影響— | | 2018年9月 | 第3回 日本薬学教育学会大会（東京） |
| III 学会および社会における主な活動 | | | |
| 1999年～現在 | 日本薬学会会員 | | |
| 2006.1～現在 | 日本医療薬学会会員（2014年1月～ 日本医療薬学会認定指導薬剤師） | | |
| 2015年8月～2018年5月 | 社会薬学編集委員（社会薬学会雑誌） | | |

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
- 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
- 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
- 4 「II 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
- 5 「III 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
- ※「III 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。

(基礎資料15) 専任教員の教育および研究活動の業績

| 教育および研究活動の業績一覧 | | | |
|----------------------------|---------------|-------------|--|
| 大学名 城西国際大学 | 講座名 生物有機化学研究室 | 職名 助教 | 氏名 亀井 智代 |
| I 教育活動 | | | |
| 教育実践上の主な業績 | | 年 月 日 | 概 要 |
| 1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む) | | | |
| 化学系実習 | | 平成25年～ | 医薬品の合成、カフェインの抽出、アセトアミノフェンの定量などの実習において、円滑に実習が進行するよう準備や学生への適切な指示を行った。 |
| 病院・薬局事前学習 | | 平成25年～ | 実務実習の準備として、調剤やコミュニケーションの指導やポートフォリオのチェックを実施。学生個人に合った指導ができるよう心がけている。 |
| 医療薬学系実習Ⅱ | | 平成25年～平成28年 | |
| 総合演習Ⅲ | | 平成25年～ | |
| 創薬化学Ⅰ | | 平成26年～平成27年 | 学生に課題を与え、その内容をパワーポイントで発表させる。授業で発表するにあたり、前もって授業時間外に発表スライドの確認、修正などのアドバイスを実施。 |
| 薬学基礎化学 | | 平成27年 | 前回の授業の復習となるような確認テストを行い、その解説を実施。これによって、授業の復習および理解の定着を図った。 |
| 地域連携論演習 | | 平成28年～平成31年 | 学生のグループワークや情報収集作業において、学生の自主性を尊重しながら適宜アドバイスを行った。 |
| 化学系演習 | | 平成30年～平成31年 | 学生に事前に演習問題を与え、問題の解答および解説発表させる。その内容によって学生の理解度を把握し、適宜解説のレベルと量を調整して演習を進行している。 |
| 2 作成した教科書、教材、参考書 | | | |
| 化学系実習 実習書 | | 平成25年～ | より分かりやすい実習書になるように分野別にしたり説明文の改訂を行った。 |
| 医療系実習Ⅱ 実習書 | | 平成25年～平成27年 | 実習内容に合わせて課題の変更、写真や文章の改訂を行った。 |
| 総合演習Ⅲ 実施教材 | | 平成25年～平成27年 | 実習に用いる課題や処方箋、それに付随したプリントの作成を行った。 |
| 3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 | | | 特記事項なし |
| 4 その他教育活動上特記すべき事項 | | | |
| 高校出張 体験型ガイダンス (FDを含む) | | 平成25年～平成31年 | 高校に出向き、薬剤師の仕事を実際に体験してもらいながら薬剤師全般の説明した。 |
| 高校生向け薬学体験 | | 平成28年～ | 高校生を大学に受け入れ、薬学体験として化学系の実験などを実施した。 |

| II 研究活動 | | | |
|--|----------------|-----------------------|--|
| 1. 著書・論文等の名称 | 単著・ 共著の別 | 発行または発表の 年月（西暦でも可） | 発行所、発表雑誌 （巻・号数）等の名称 |
| FICA, a new chiral derivatizing agent for determining the absolute configuration of secondary alcohols by 19F and 1H NMR spectroscopy | 共著 | 平成25年8月 | Tetrahedron:Asymmetry, 24, 1001-1009 (2013) |
| Reductive metabolism of nabumetone by human liver microsomal and cytosolic fractions: exploratory prediction using inhibitors and substrates as marker probes | 共著 | 平成26年3月 | European Journal of Drug Metabolism and Pharmacokinetics, 40 (2), 127-135 (2014) |
| Improved synthetic route to methyl 1-fluoroindan-1-carboxylate(FICA Me ester) and 4-methyl derivatives | 共著 | 平成26年6月 | Chem. pharm. Bull, 62(8), 816-819 (2014) |
| Determination of the Absolute Configuration of the Nabumetone Metabolite 4-(6-Methoxy-2-naphthyl)butan-2-ol Using the Chiral Derivatizing Agent, 1-Fluoroindan-1-carboxylic Acid | 共著 | 平成31年1月 | Chem. pharm. Bull, 67(1), 75-78 (2019) |
| 2. 学会発表（評価対象年度のみ） | | 発表年・月 | 学会名 |
| 臨床マインドスコアの変化が学力に及ぼす影響 | | 平成30年9月 | 薬学教育学会 |
| III 学会および社会における主な活動 | | | |
| 平成14年2月～現在に至る | 日本薬学会 会員 | | |
| 平成18年1月～現在に至る | 有機合成化学協会 会員 | | |
| 平成26年4月～平成29年3月 | 千葉県立農業大学校 外部講師 | | |
| | | | |

※ 平成29年2月～平成30年3月は産休・育休のため、上記期間から除く

- [注] 1 各教員ごとに最近6年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください。
 4 「II 研究活動」は、最近6年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
 5 「III 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
 ※「III 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会の記載も可。